

のうきよう なまじつ



'92
2 No.206

シリーズ私の趣味 №.50

コミュニケーションづくり ●田島義一・まちこ.....

コミュニケーション みんななかま

オーストラリア・ニュージーランドを訪ねて

根室地区農青協幹部研修会に参加して

わが家の人気者じつとしてるのは大嫌い

第四回当幌冬のフェスティバル

婦人部新年恒例会

営農技術 我が家の飼養管理の課題を探る

●北根室地区農業改良普及所

農村地域活性化講演会

農協の財務状況

優良乳用牛緊急確保対策事業の概要

暮らしの知恵袋 家族ルールづくりとは

●北根室地区農業改良普及所

今月のフォトアルバム

20 19 18 16 14 13 11 10 8 7 6 4 3



なまはげ柴灯祭りは、二月十二日十五日に男鹿半島中心部にある真山神社を中心に行なわれる祭り。

神社に奉納された餅を柴灯火で焼いてなまはげが配り、ご利益を与えるというもの。なまはげが松明をもって雪の中を走りまわる様は圧巻だ。

ミニミューケーシヨンプレザンツ

夫婦で社交ダンスを始めて十年目を迎えるというのは、田島義一さん、まちこさんご夫妻。

二人が結婚する切っ掛けとなったのも、お互いダンスを習っていた知り合ったという。

しかし、結婚した時はお互いダンスはしなかったそうで、したくても出来ない状況、義一さんは結婚前酪農外の仕事をしていた関係

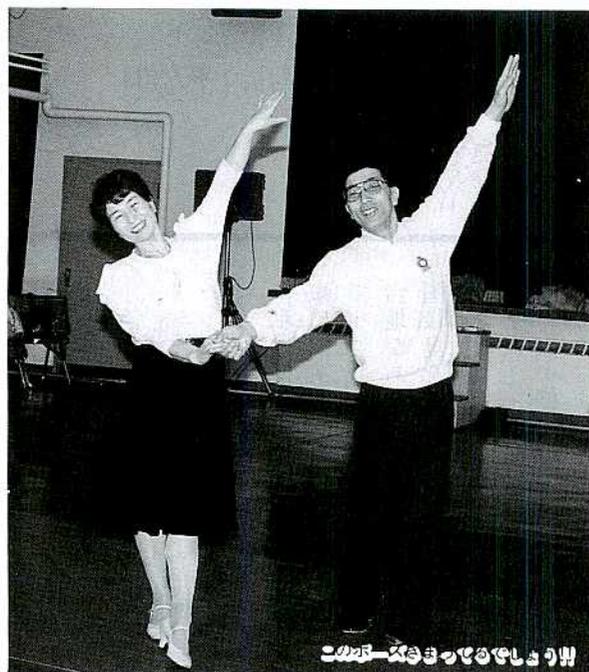
上、結婚して酪農という職業に移り仕事を覚えるのに精一杯で、ダンスを習う余裕がなかったそうです。

それから十年、ダンスとはまったく縁がなかった二人ですが、ある時、地域に住むある奥さんから、「中標津に社交ダンスを習いに行きたいのだけど、一人で行くのも自信がないので、田島さんの奥さ

私の趣味

51

群馬 田島義一さん(41歳)まちこさん(40歳)



若さを保つ秘訣？

「人も一緒に行きませんか？」と話があり、まちこさんだけ約十年ぶりにダンスを習い始めたという。

しかし一年くらいたってその奥さんが体調を壊し、ダンスをやめてしまい、まちこさん一人で行くようになった。その時、義一さんは別にダンスを習うつもりはなかったそうですが、約二十キロの夜道を奥さん一人で通わすのは心配と、やさしい夫心からお互い一緒

に習うようになったそうです。そんな切っ掛けで、また社交ダンスを習うようになって十年。今ではタンゴ、ワルツ、チャチャを始め、サンバ、キューバンルンバ、クイックスティップ、ジャイブなどのダンスをマスター、それに、中標津社交ダンス研究会の会長も務め、会員の育成と社交ダンスの普及にも力を入れている。

練習は週一回、町公民館で十三人の会員さんと楽しくレッスン。練習が終われば必ずといって良いほど、全員が某ホールへ直行。ダンスも楽しいが、それ以上に会員さんと色々な話しをするのが楽しいという。「酪農を職業に持ち、夫婦で出かけるのは大変だけど、楽しい事をやる時は、その分仕事にも張りが出る。また、ダンス仲間との異業種交流も仕事面でプラスになる事が多い。それと、なんといつても若さを保つ秘訣ですよ」と話す田島さん。

趣味を通して、仕事と夫婦のコミュニケーションがピタリと合った田島さん夫婦。これからも仲良く踊り続けるでしょう。

なかま

仲間・はなし



農業を支える自覚 と将来への夢

(妻として、母として)

若妻の主張コンクール優秀賞

北進 弾正原真由美

私の住む中標津町は、北海道の東に位置し、人口二万三千人の町です。我が町には、開陽台という台地があり、そこからは北方領土、国後島を望むことができ、地平線視三三〇度で「地球が丸く見える」ことでも有名です。

その中標津町で私たちは酪農を営んでおり、有志が集い若妻会が発足されたのは、今から十年程前です。その頃、ちょうど二代目の結婚ブームであり、二、三年の間に約十組程の結婚が相次ぎ、その頃の人たちが中心となって、現在十五人程の会員で活動を進めています。年齢的に近いこともあり、子育て、牛のこと、仕事、そして家庭の事と皆同じペースで進んでいたのですが、若妻会はスムーズに発足され、また、楽しい会として現在も活動しています。三年程前「会の名前を考えよう」という意見がで、みんなでいろいろ考えた結果、西竹地区の名前をもじり、要（か

なめ）会としました。一家の要として家族を守り、夫の右腕として、そして、母として、嫁としての要です。

さて、私たち要会は、毎年二人の役員さんが持ち回りで選出されます。その役員さんの特徴を生かして、独自のやり方で、その年ごとに流動的に活動をしています。具体的に活動を紹介しますと、まず、リサイクルバザー、衣類、その他不用品を持ち寄り、春と秋の年二回行なっています。料理講習は、会員の中から先生が出て、クッキーやケーキのおやつをはじめ、牛乳や料理やパン、豆腐作りなどを行なっています。手芸としては、パッチワーク、和紙作り、焼き物などにも挑戦しています。また、農繁期前後の日帰り旅行やボーリングなども、欠かすことのできない楽しい活動の一つです。それから、地元小学校の学芸会に参加し、リサイクル品の販売を行なうなど、積極的に活動を進めています。新入会員歓迎会は随時、例会は月一回と決めています。七月、八月の牧草刈取りの農繁期は、タイミングを失うと中止という事もあります。

活動を進めていくうちに、幾つかの課題が出てきました。最近の課題としては、活動のマンネリ化が心配されていますが、新しい会員が昨年から増えてきており、新風が吹くことも期待されています。そんな中で、二十歳という年齢から四十歳という年齢差も、問題となりつつあるのも事実です。また会としての問題はもう一つあります。要会の活動には比較的な積極的であり、日時が決まるとほとんどの会費が集まります。ところが、農協婦人部の本部事業への参加は消極的で、今後、考えなくてはなりません。やはり、月に一回例会に出るのがやっとなという人がいるのも確かなのです。もっと皆が足並みを揃え、地域や生活の向上などをもっと真剣に考えなければなりません。

最近、会の中で話題になるのは「古い」についてです。私たちの住んでいる西竹地区は一代目が開拓に入り、二代目が家を継ぎ始めたこの地区では初めて「古い」の問題が出はじめてきています。酪農をしながらどうするのか、また、後継者の嫁不足も地域での大きな問題の一つです。どこの地域でも

みんな、

仲間・はなし



かかえている問題であり、これからは、これらに対する話し合い、講習会など必要になってくるでしょう。また、酪農家として乳価、乳質、経営のあり方もいつも話題になります。酪農家の労働が他の職業に比べ、正当に評価されているのだろうか。農休日のとり方など、私たちが若妻がこれから迎える問題も多くあります。

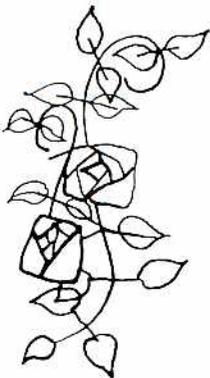
私はそんな中で、いつも何か酪農というものに、何か輝くものをもっていないと続けられない職業だと思ふのです。こんな仕事と思うより、こんなに価値のある仕事なんだという意識を持たなければ、生産意欲も上がらないはずで、一般的に夫と共に仕事ができる、子どもを育てるのには良い環境だ、自然の中で生活ができるなど良く聞かれる話です。しかし、それを本当に活用していかなければ宝の持ち腐れです。夫と共に仕事ができるなら労働力だけを提供するのではなく、経営の事も知るべきです。乳質改善、牛の餌や育て方などを夫は妻に会社の共同経営者として教えるべきですし、私たちが若妻も共同経営者としての自覚と意欲を持つ事が大切です。

また、子どもを育てるのに良い環境ならば、子どもと共に仕事をする喜びや収穫の喜び、そして、仕事に対する責任感を教える必要があると思います。私たち農業者は自然相手の仕事です。良いこともあれば、自然の厳しさをもうに受けることも確かです。そういうことを子どもと共に考えてみることでできるという、私たちが親に自覚が必要です。忙しいから子ども面倒が……という言葉が時折聞かれるのも事実ですが、子育てと仕事の関係をきちんと考え、仕事の効率化、省力化が必要だと思います。

自然の中で仕事ができるというのも、ただ単に緑があれば自然なのだというのは間違いであることが、今、特に知られるようになってきています。化学肥料や農薬などの問題が良く聞かれる中で、それらを使わなければ食べていけない農業になっていかなないという現実もあります。しかし、そんな中で、いろんな人たちがいろんな形で、本場の土や本場の自然を捜しています。私たちが、もっと積極的にそういう事に興味を持ち、いろいろな人の話を聞き、いろいろな人

と出会う機会を持つべきです。そして、本物を見極めることのできる目を持つよう努力していかなければなりません。遠い将来、牛もそして、人間もどうなるのか不安になります。

若妻会などでの集りで、自分たちの現在おかれている環境、経済、立場を話し合い、そして、将来の事について少しでも、何かできることを捜してみる必要があると思うのです。夫と共に、家族と共に、牛が放牧地で草を食み、家の周りにいろいろな動物がいて、ゆつたりとした気持ちの中で生活している自分の姿を夢みるのではなく、現実にしていくためにも、地域と自分、そして、地球と人間の関係を考えていきたいものです。そして、そのために大切なのが仲間作り。これから、もっと新しい会員が増え、いろんな話し合いができます。ますます活発な活動ができる事を私は望んでいます。



オーストラリア ニュージーランドを訪ねて

第15回
北海道農協婦人部
海外農業視察研修団
に参加して

保落 笠原嬉代美



ニュージーランド、キューイフルーツ農園の前で

平成三年十一月十九日に出発、成田発二十一時十五分、機内一泊シドニー二泊、メルボルン二泊、十一月二十四日移動日、ニュージーランドへクライストチャーチ三泊、

ロトルア一泊、オークランド二泊。旅をした事の無い私がいきなり海外旅行、観る物、聞く物、食べる物、全てが珍しく感嘆の連続でした。今回の訪問国オーストラリアとニュージーランドは街の中は勿論、郊外に出ても清楚なたずまいが、今でも深く印象に残っております。

で、酪農家訪問の日を楽しみにしておりましたが、余りにも規模が大きく、参考にはならない様な気がしましたが紹介します。十一月二十八日、ニュージーランド北島のハミルトン郊外のスペンサー牧場、面積が一八五haで搾乳牛六百頭、その他五〇〇頭の牧場でした。(牛舎はありません)完全放牧で、十二時間ごと牧区を変えて行きます。年間の乳量四千五百kg〜五千kgです。配合は一切与えません。夕方だけビタミン剤と、ガス予防の手当をするだけ、搾乳方法はパーラー方式で回転方式です。一回に四十頭、此の日は四百頭搾乳で、搾乳時間は一時間半で終るそうです。最後迄時間に余裕がなく帰って来ましたが、もう少し色々とお話したいと思いました。

液を止め、自然に切り落す(虫がいないので尾は不要)そうです。此の日のガイドさん正子・ハイラ・E.Cなどの関係で、農家の経済は厳しく大変であるが、今農業のあり方がどんどん変わって行く、日本の好むものを研究し果樹、野菜、栗、しいたけ、お茶、柿、ナシ、その他、また、青年は日本に留学し、日本語を学び日本文化を知ること努めている。人種差別のない此の世のユートピアに、人間同志がニュージーランドの文化づくりに努め、核を持たない作らない国とし、世界の食物庫として。みどりの土地は世界のものです。お互いに頑張りましょうと、日本人でありながらニュージーランド人としての胸中を察するとき、熱いものが胸につき、研修と共に人の心のふれ合いの大切さを、しみじみ感じて帰って来りました。十三日間の長い旅のほんの一部ですけれど私の報告と致します。

私達の地域は酪農ですの

乳価はバター買いで一キロ五ドルでした。その日のニュージーランドドルは、七十七円でした。草地酪農なので、コストもかからず一頭当りの乳量も低いのですが、出ただけ搾るといったように思われませんでした。それから牛にシツポが無い。衛生のため子牛の時に輪ゴムで血

まだまだ牛飼いは、 魅力のある仕事!!

根室地区農青協幹部研修会に参加して—— 俣落 笠原 康博

去る一月二十三日、二十五日の三日間、東京に於いて根室地区農青協幹部研修会が行なわれました。出発当日は空のアクシデントで、危うく中止かと思われましたが、千歳経由を羽田直行便に切りかえて、無事東京に着くことが出来ました。

その日の予定は、一度栃木県に行き、農家視察と地元青年部との交流会でした。

農家視察では、フリーストール農家二戸を見てきましたが、特に印象に残ったのは、縦、横どちらでも拡張できる一個切り形屋根の牛舎、通気性も良く夏場の日射角度も考えて作られている。それと、飼槽の前にサイレージ、ルーサンコーン、配合などを層にして並べて行き、ロータリーハローでミキシングするというやり方にも関心

しました。

その夜は、野木温泉ホテルで視察農家の二人も含め、交流会を行いました。交流会では特にこれと言った話はありませんでしたが、同じ世代とあってみんな和気あいあいと、同じ酪農家同士の話しが弾んでいたようです。

二日目は東京にもどり、今回の研修会の本題とも言える農林水産省担当官との意見交換会が、農水



研修会に参加した管内のメンバー

省本部で行なわれました。その話の中身というところ、まずメレ子を始めとする個体価格の低迷、乳量の伸びが良いが、それに伴う乳牛の多頭化による施設や自給飼料、また労働力の限界など、現在根室管内酪農家が抱える様々な問題を始めとし、単年度の乳価設定ではなく、五年位の長期的な乳価設定はできないか、営農資材の高価格をもっと安く、安定したものにできないかなどが、こちらからの意見として出され、これに対する担当官の答えはと言うと、個体価格の下落によるダメージはわかる。しかし、一番安いメレ仔で売ってしまつて、不足払いをもっと利用しないのか。乳価については現在上がることも下がることも言えない。

ただ乳製品の需要の伸びを照らし合わせた十年來の見通しは、おおよそであるが出来ることもある。また営農資材などの国際的価格差は、現在どうすることもできないので、しばらく辛抱してほしい。そして経営規模の拡大に関する問題については、仕事の分業、協業化、また、専門の委託業者を育てるなどの方向に進めて行きたい。それが

ら、根室の皆さんが苦しいのは良く解ります。それでこれから私たちに何を望むのか、何を求めるのか、そして何をしてほしいのかをもっと明確にして、どんだん生の声を上げて来てほしいとのことでした。その他、ヘルパー問題などについても話し合いましたが、二時間という時間はあつという間に過ぎてしまい、その場はお開きとなりました。

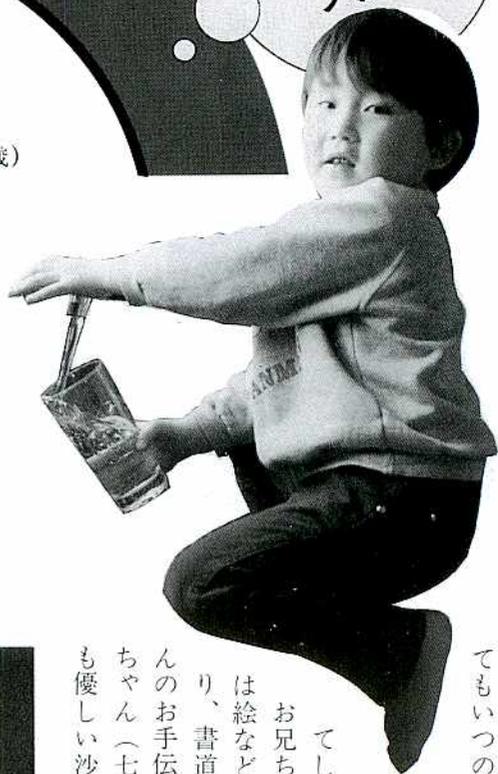
その後は、近くの議員会館に行き、北海道五区選出議員に三、四人づつ手分けして、面会に行きましたが、本人に会えたのは岡田議員の所だけで、他の四人の代議士の方は不在でした。

その夜は近くの料理屋で、農水省担当官と酒を交えての親睦会を行ないました。たまたま私の隣りが現在米農家担当の人で、あまりおいしい話しは聞けませんでしたが、米農家も今は本当に大変な時期で、後継者も育たず、それに比べると自分の身の周りを見て、若い後継者がたくさんいるのを考えれば、まだまだ牛飼いは魅力のある仕事なんだと、つくづく思いました。

わが家の人気者!

名越 優・静枝ご夫妻
次男 尚行くん(4歳)

じっと
しているのは
大嫌い



四人兄弟の末っ子尚行君は、只今四歳のワンパク君。とにかくじっとしている事などない。外で雪遊びをしたり、家の中でトランポリンをしたり、それでも力が余る時は、ケンカを売って歩くという名越さんちの「台風の目」的存在の尚行君。この日もモップを持って来て何をするのか見ていると、柄を釘に引っ掛け、手にはスノー手袋をはき、パンチの練習をはじめめる姿はさすが男の子。お姉ちゃんの沙友里ちゃん(六歳)も、尚行君にはいつも泣かされる始末。四人兄弟、最初は仲よく遊んでい

てもいつの間にかケンカに発展。

でも、誰か一人でも欠けるとどうも調子が悪く、淋しくってしようがないそう。

お兄ちゃんの伸一君(十歳)は絵など書く事を得意としており、書道は二段の腕前。お母さんのお手伝いをしてくれる真由美ちゃん(七歳)、一番泣き虫で、でも優しい沙友里ちゃん、そして、



世話好きで甘んぶ子、やっぱりお母さんが一番いいの



ジャブ!!ジャブ!!
トレーニングに励みます

一番甘えっ子の尚行君。「四人の子供達の性格はそれぞれ。子供の特性を生かしてあげたいわ。子供は多い方が楽しいわよ」とニッコリ話すお母さんの静枝さん。

今日も元気いっぱいの子供に困まれ、賑わっていることでしょう。



お兄ちゃんの伸一君が書いた
水果画はお見事です

馬事振興に向けて飛躍を

第四回中標津馬事振興同志会定期総会（会長横田好一）が、マルエー温泉において、十七人



今年も皆様の協力を得、頑張って行きたいと横田会長

出席し開催されました。会長が議長を務め、提出議案が全て承認され決定致しました。今年度は新会員が三人増え、会員数三十人となります。

総会終了後、新年会にはいり、馬談議が始まり、ばんえい競馬、馬の生産、ゴルフ場の周囲に馬の体験のできる乗馬公園などのふ

れあい広場、開陽台周辺に馬を放牧できないのか？等々……。



議案を真剣にみつめる会員

第二の人生を馬と生活したい人もおり、皆さん好感度一〇〇%の夢を語り合い、話はずきないようでした。

平成四年度活動計画

○二月二十六日農水省十勝牧場近隣種雄馬視察研修予定。

○六月上旬頃、乳牛共進会に合わせて種馬共進会開催。

○七月下旬、根室種馬共進会参加。

○十月下旬、根室当歳馬展示会参加。

中標津乳牛改良同志会は、（会長土井上昭男）第二十一回目の定期総会を一月三十一日、議長に当幌・長正路清氏を選出し、農協大会議室で開催されました。

21世紀に向け 新たな飛躍の年に



目標に向かって新たな挑戦をと土井上会長

昨年度は、二十周年記念と大きな事業を成し遂げ、会員一同新たな気持ちで定期総会に臨み、提出された議案に基づき活発に論議されました。

今回の総会に提出された高能力牛表彰基準改正は、三年前に一度改正されましたが、年々能力向上によって表彰頭数が増し、財政的にも逼迫し見直しの時期にきており、内容的に高いレベル、且つ先を見通した改正によって、目標に向かって新たな挑戦と牛群のレベルアップ、経営安定になれば改正

の内容が充実すると思います。提出された平成三年度事業報告、決算報告、平成四年度事業計画（案）収支予算（案）がそれぞれ承認されました。

今回の総会で役員改選が行なわれ、次の様に改選されました。

会長 篠永 栄

副会長 弾正原 正

桜井 幸一

監事 久保 剛

福村 稔

今後二年間よろしくお願い致します。

当幌冬のフェスティバル



それ行くぞ!! おっこちないようにしっかりつかまってよ!!



寒い時は熱ったか料理が一番ヨ

子供も大人も 楽しい冬の 一日

第四回当幌冬まつりが、好天に恵まれた一月十三日、吉田農場前特設会場で開催されました。

当日は六十人もの家族が集まり、ソリ遊びやスノーモビル、雪中ドッチボールなど、この日はかりは、子供達はもちろん大人のの方が楽しんでるといった感じ。ソリ遊びといえども、乗りこなすにはバランスがなかなか難しく、大の大人が何度も転びながらやっとな下にたどり着く姿に大笑い。

裏方の奥さん達は、焼きそば、焼きうどん、豚汁と甘酒作りに大忙し。食べている皆の顔は満足!! おいしさを笑顔で表現。

この冬まつりに、中標津地区からスノーモビルでやってきたという、つわもの達も一緒に楽しい冬まつりとなりました。



六十人の部員が集まった婦人部新年恒例会が、寿宴で盛大に開催されました。

芸達者な人が続出!

新年の幕開け
婦人部 パワー



「おらの東京へ行くさあ」に合わせ踊る武佐支部

新年会は笠原部長の開会挨拶のあと、児玉組合長、普及所雨野所長の祝辞をいただきました。引き続き、昨年オーストラリア、ニュージーランドへ海外研修に参加した笠原部長の報告会を行いました。時間の関係上、ビデオもすべて見せる事もできず、一時間という時間では十分な説明もできなかったようですが、街の様子、視察場所の説明など、報告しました。会食は金子青年部長の乾杯ではじまり、続いて芸能発表が行なわれました。芸能発表ではカラオケで美声を発揮。また、日頃練習を重ねている三味線や大正琴の披露もあり、皆うっとり聞き入って



早く巻いた方が勝ち、巻く方も巻かれる方も必死

いました。その他に自分達で振付けた踊りでは笑いを誘い、余興の最後には、出席者全員でマンボやデイスコを踊り、会場は大賑わい。ゲームもあき岳積み競争などに皆ハッスルし、とにかく楽しい一日を過ごしました。



さあ、1分間に何個積めるか

農協職員勤続20年を

迎えてひびくと

一月七日、農協職員二十年永年勤続表彰が行なわれ、四人の方が表彰を受けましたのでご紹介いたします。



乳牛消流係長
渡辺 幸 男

一月七日、初仕事の日、組合長から二十年永続勤続の表彰と訓示を受ける朝に、乳牛二車の積込みのため、組合長の挨拶も聞けずに今年も始まりました。

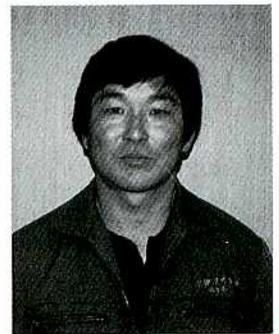
私は澱粉工場、生活店舗、畜産販売などでの二十年。現在は畜産販売課で乳牛消流部門で頑張っています。私のモットーは、「土に生きる人は必ず勝利を得る」というのが信念です。

今後共、組合員の皆様と、先輩の方々のご指導宜しく願ひし



澱粉工場主任
三浦 秀 勝

早いもので、職員として勤めてから二十年になりました。この二十年間、先輩の方々のご指導をいただき、無事勤めることができました。今後一層努力してまいりますのでよろしくお願い致します。



生産資材係主任
佐々木 修

皆様のご指導のもと、このたび勤続二十年を迎える事が出来ました。

今後とも、皆様のご指導と共に農協職員として頑張らせていただきますので、宜しくお願い致します。



生活店舗係長
佐藤 徹

この度、中標津町農協勤続二十年の表彰を受ける事が出来ました。今迄の歩みを振り返って見ますと、私が中標津へ来た当時、根釧原野は、日本のデンマークと言わ

れ、ヨーロッパ酪農を追いつけ追いこせと、そんな合言葉のもとに施設拡大や草地造成など、大型化の道に向かって歩んでいました。そんな中で私自身、職場の中で、畜産係の四年間を振り出しに、組合員係など、営農部門で担当させていただき、二十年が過ぎました。仕事柄、実際に多くの組合員の方と色々な現場で教えていただくことが出来ましたが、根室の酪農は、規模的には大型になり、今や日本有数の酪農地帯となつています。また、増産の時代から質の時代へと大きく変化の道をたどっています。これからも根室地区は、貴重な生産地として、色々な意味で注目されていくと思います。農業情勢も厳しく、課題もあります。酪農が、農業に対するロマンはいつも持ち続けたいと思います。

私は、四十代の仲間入りをしたが、壮年の立場として、熟年の知恵と青年の発想のパイプ役となるよう自覚しつつ、今迄、数多くの方々に教えていただいた事を活かし、頑張っていきたいと思ひますので宜しく願ひいたします。

我が家の飼養管理の課題を探る

ACM乳量補正法の活用

酪農環境の急激な変化の中、牛乳生産に重きを置いた経営の再編が求められています。良質な牛乳をいかに多く、安く生産するか、この事は酪農経営の永遠のテーマでもあります。酪農技術の目標は乳牛へのストレスをいかに○に近づけるかであり、環境面・飼養管理面などでのマイナス要因をいかに軽減し、乳牛の本来持つ能力を発現させるかにあります。

我が家のワイークポイントはどこにあるのか、乳牛成績を基に昨年の飼養管理を反省する材料として、「ACM乳量」の概念を紹介します。

一、「ACM乳量」とは

牛乳の生産は多くの要因によって左右され、大別すると牛群の状態と飼養管理の二つとなります。牛群の状態とは、①牛群の産次構成、②分娩（分娩後日数）、③乳成分などがあり、日常の飼養管理の良否を判断する上で障害となっています。

「ACM乳量」とは、これらの牛群の状態を同一条件に換算し、牛乳生産に関わる飼養管理要因を浮き彫りにするものです。

二、「ACM乳量」の算出
算出のためには乳検成績の整理が必要で、毎月の「牛群成績表」を基に、表二「ACM乳量チェック表」に必要なデータを記入し、

表一「ACM乳量の換算基準」を基に、表二「ACM乳量チェック表」に必要なデータを記入し、

す。

データ整理後、表三の換算式に添ってACM乳量を算出します。

三、「ACM乳量」の活用

これで牛群側にある牛乳生産の変動要因は取除かれ、残るは飼養者側の要因だけとなります。月によりどう変化しているか、特に変動の大きい時期は、低い月はないか、などを検討します。

影響する要因として、飼料給与、環境条件（気温など）などが考えら

れます。中でも、粗飼

料の量と質、それに

応じた飼料給与の是

非は大きく乳生産を

左右する要因であり、

「飼料の安定」乳牛

コンディションの安

定「牛乳生産の安定

」経営の安定」を基

本に今一度、我が家

の飼養管理を見直し

てみましょう。

表1 ACM乳量の換算基準

(S. 63 ジョンソン・セミナー資料より)

	増加 ←	実乳量に比較して ACM乳量は	→ 減少
① 初産牛割合	多い ←	基準 : 経産牛の3分の1	少ない →
② 平均分娩後日数	長い ←	基準 : 平均日数150日	短い →
③ 乳脂肪率	高い ←	基準 : 乳脂肪率3.5%	低い →

表3 ACM乳量の算出方法

- ・ 初産牛頭数 = ①
- ・ 2産以上頭数 = ②
- ・ 搾乳牛頭数合計 = ③
- ・ 平均分娩後日数 = ④
- ・ 搾乳牛1日1頭乳量 = ⑤
- ・ 搾乳牛平均乳脂肪率 = ⑥

○ 産次構成による換算

$$A = 2 - \frac{① \times 0.8 + ②}{③} \div 0.93$$

○ 分娩後日数による換算

$$B = \frac{⑤ + (④ - 150) \times 0.0029 \times ⑤}{⑤}$$

○ 乳脂肪率による換算

$$C = 0.432 \times B$$

$$D = 16.32 \times B \times ⑥ \div 100$$

※ ACM乳量 = A × (C + D)

表2 ACM乳量チェック表

検定月日	経産牛頭数	搾乳牛頭数			平均分娩後日数	搾乳牛1日1頭乳量	乳脂肪率	ACM乳量
		初産牛	2産以上	合計				
-	-	①	②	③	④	⑤	⑥	-

地域性を生かした 農村づくりを

農村
地域活性化
講演会

中標津町主催による、農村地域活性化講演会が1月17日、根室地区農業共済組合大会議室(中標津支所)に於いて開催されました。



農村アミニティの講演をする五十嵐氏

この講演会は、農業をめぐる厳しい情勢に的確に対処するため、農業の生産性や付加価値を高めるなど、生産性のあり方を消費者の求める方向に一層近づけ、農村が農畜産物を生産する場としての機能と、自然環境や国土保全、更には保養の場を提供するなど多くの機能を備え、広く国民から支持され、地域が活性化される農業と農村づくりの今後の在り方を目的に開催されたもの。

講師には、北海道開発研究調査会の五十嵐智嘉子調査部長、北海道新聞社総合メディア開発室、浜地準男開発委員により行なわれました。

五十嵐氏は、「農村アミニティについて」と題し、「今、企業は都市から北海道へ目を向けている。道内でも札幌ではなく、地方へ移って来るだろう」とし、その様な企業を受け入れるためにも「ファームステイ」「リゾート・オフィス」などの構想が必要。このためには、環境、交流、生産、安全など全体を考えたアミニティへの努力が求められるとし、中標津の

地域性を生かし、自然を壊さないで作る歩ける空間「巨大農村公園」構想について話されました。

また、浜地氏は、「酪農の現状と将来展望」と題し、今農業は大変厳しい現状であるが、これを取り越えるために生産者は企業感を持つべき、また、北海道農業の将来については、府県にない素晴らしい環境がある以上決して暗くない、益々酪農基地として発展するだろうと話し、最後に農業者として誇りを持ってがんばってほしいと結びました。



自分たちの町作りとあって真剣に聞き入る

税 知っておきたい 税の知識

所得税の確定申告は 正しくお早めに

平成三年分の所得税の確定申告は、二月十六日から始まりです。

申告期限は、三月十六日ですが、期限間近になりますと、税務署は大変混雑し、長時間お待ちいただくようなこともありま

す。
確定申告はできるだけ早めにお済ませください。

正しい確定申告を

所得税は、自分の所得の状況を最もよく知っている納税者が、自ら税法に従って自分の所得と税額を正しく計算して申告し、納税するという申告納税制度を採用しています。

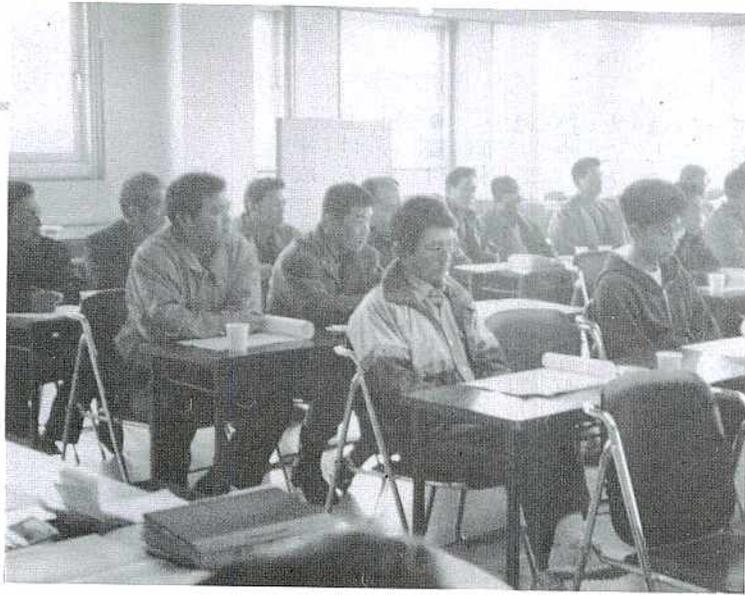
昨年一年間の所得と税額を正しく計算し、お早めに申告と納税を行なってください。

馬鈴しよ振興対策協議会

第15回 定期総会盛会のしちじ終りの

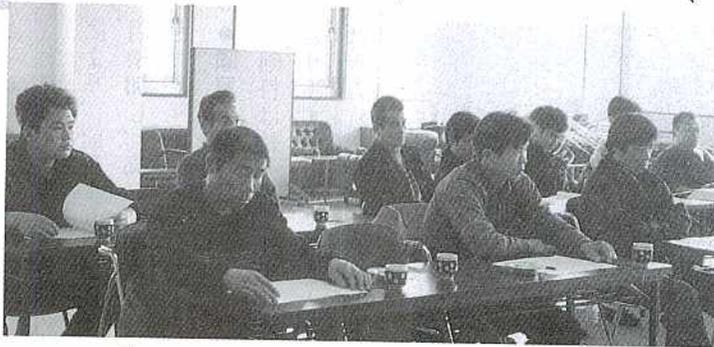
平成四年度中標津町農協馬鈴しよ振興対策協議会の、第十五回総会が一月三十日、農協大会

議室を会場に耕作戸数五十二戸中、本人出席三十四人、委任状提出十二人で開催されました。



上原会長の挨拶のあと農協児玉組合長、北根室地区農業改良普及所・長岡主任の祝辞をいただき、議長に拓農の長瀨重樹さんを選出し、提出議案の審議が行なわれました。議案第一号、平成三年度事業及び収支決算報告。議案第二号、平成四年度事業及び収支予算(案)が原案通り承認されました。今年度の事業計画の中で、馬鈴しよ振興会会員全体と農協役員さんとの懇談会も四月上旬に予定されておりより以上に相互の親睦と理解を深め、畑作農家の向上を計って行く内容も盛り込まれました。

中標津町農協てん菜振興会の第十五回、定期総会が一月二十一日、農協大会議室に於いて、会員二十六人(本人出席十七人、委任九人)で開催致しました。



第15回 てん菜振興会総会開催

議案、平成三年度事業報告並びに収支報告、議案第二号、平成四年度事業計画及び収支計画(案)は、原案通り承認されました。引き続き行なわれた役員改選では、地区より選ばれた選考委員会で、慎重に討議の結果、次の通り決定しました。

二年間新体制で運営して参りますので、会員皆様のご協力をお願い致します。

- 会長 名越 優(新任)
- 副 長 安達 樹雄
- 監 事 赤波江 清
- 松田 征二

中司会長の挨拶のあと北根室農業改良普及所雨野所長、原料所岡山所長の祝辞をいただき、議長に、東依橋の西崎敬造氏を選出し、提出議案の審議が行なわれ、第一号



農協の 財務状況

平成三年度十二月末の、農協における主な財務の状況についてお知らせいたします。

●貸付金

昭和五十七年から平成元年までは、乳価の先行き不透明から投資控や、家畜個体価格が好調であったことなどで、減少を続けておりましたが、情勢の急激な変化などで、昨年より貸付金が増加して来ております。

●クミカン

昨年の同期より、二千四百万円減少しておりますが、本年度は昨年に続く家畜個体の暴落に対する措置として、二億二百万円の償還延納を行なっておりますので、これを加味してみますと、昨年よりさらに約一億八千万円悪化していることとなります。

●貯金

家畜個体の暴落などがひびき、目標を大中に下回り、四千五百万円の増加にとどまりました。このことは組合の資金運用にも大きく影響いたします。

●自己資本

本年度総会でご承認いただきました目的積立金の設定に伴い、従来引当金で留保しておりました金利変動準備金、価格変動引当金、肥料価格安定準備金、それに貸倒引当金の法定オーバー分を、特別積立金に移行したのが主な要因で、前年同期より二億二千九百万円増加しております。

●販売事業

農産物は、馬鈴しよ、ピートとも前年より良好で八億千二百万円の取扱い高となり、前年比一〇八・

二パーセントと延びております。

家畜個体はこの様な情勢のため、取扱い頭数が伸びているにもかかわらず、金額で一億四千六百万円減少し、前年比八十五・八パーセントに留まっております。

生乳販売は組合員皆様のご努力により、前年より三億四千九百万円増加し、高い延率となっております。

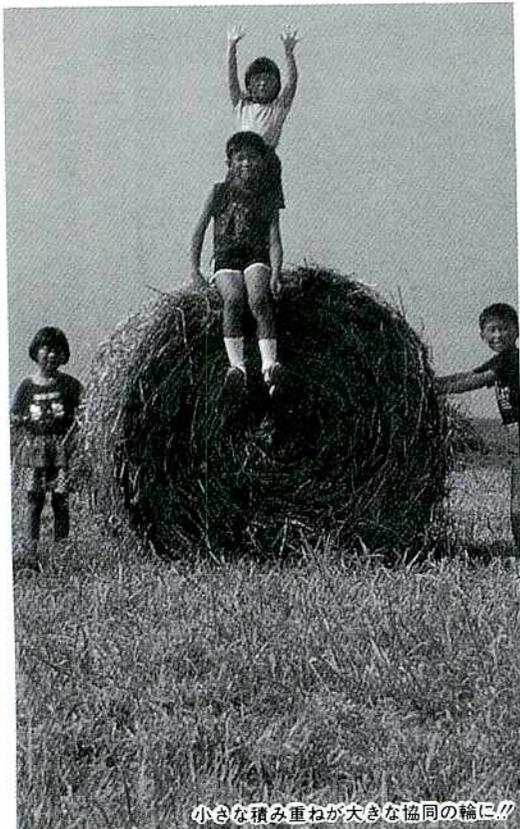
●購買事業

飼料は約一億二千万円増加しておりますが、農機具などの節減がはかられ、生産資材の取扱い高で

は前年同期より七千万円減少しております。

生活店舗については、昨年同期より八千八百万円の取扱い高増となっております、順調に推移しております。

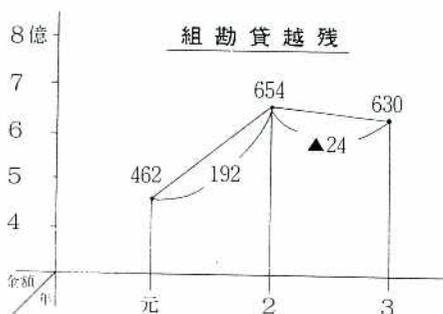
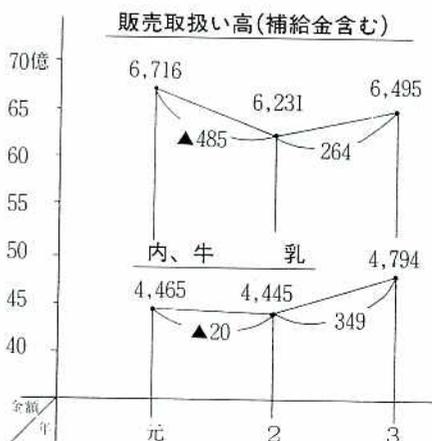
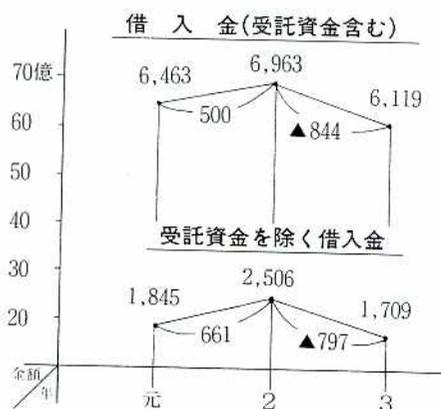
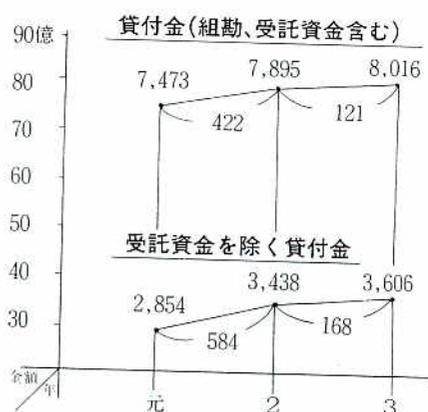
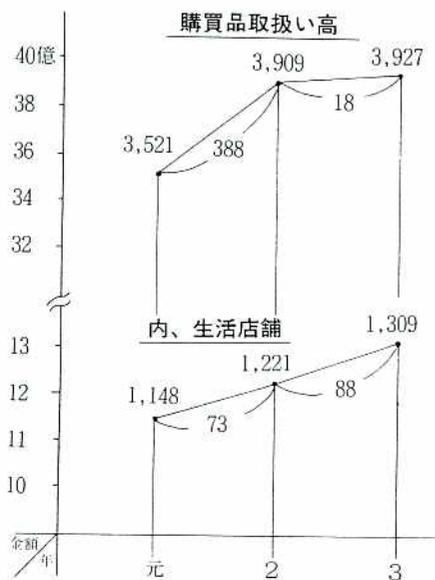
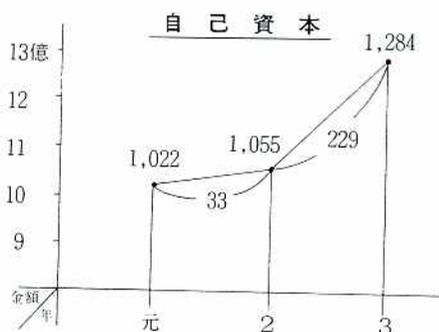
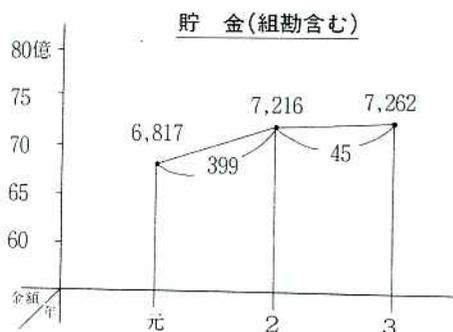
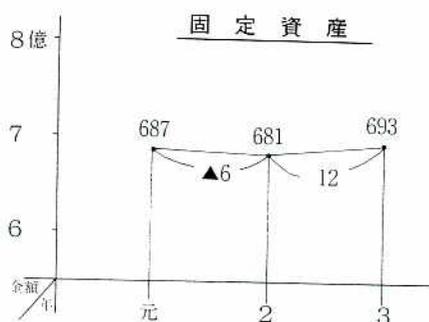
激変しておりますこの情勢下を乗り切るため、業務全般にわたり役員をはじめ、全職員頑張っておりますので、組合員皆様方の今後一層のご理解、ご協力をお願い致します。



小さな積み重ねが大きな協同の輪に

事業概況

各年度12月末現在(単位百万円)



優良乳用牛緊急 確保対策事業の概要

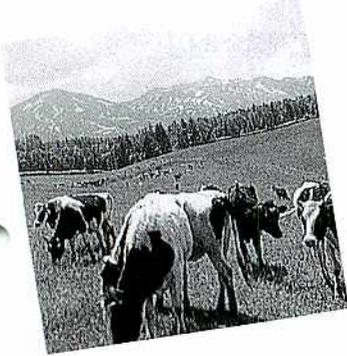
この事業は、最近主として、飲用乳生産地域（内地府県）において、優良乳用牛導入が停滞し、これまで乳用牛の供給を果たしてきた地域（道内）においても、更新用の初妊牛が滞留している。このため緊急に乳用牛の資源確保及び優良乳用牛の導入促進を図ることを目的としています。

事業の内容
一、乳用牛資源基地緊急活性化対策事業

農業者などが、今後引き続き初妊牛を販売するために育成する者に対して、奨励金を一頭につき、二



万五千円の助成がある。
対象頭数 四万二千頭
予算額 十億五千万円。



二、乳用牛緊急活用対策事業

農業者などが初妊牛を購入し、飼養する者に対して一頭につき、三万五千円の助成がある。

対象頭数 一万六千頭。

予算額 五億六千万円。

なお、これらの取り扱いについては、平成三年十月一日より平成四年三月三十一日までに販売、または購入した牛を対象とします。

補助事業ということから確認事項などがあり、左記の書類が必要となります。

(一)、登録証明書（血統、基礎）登録証明書のない初妊牛は対象外です。

(二)、人工授精証明書、(三)、妊鑑証明書、(四)、買受伝票※詳細については、農協畜産販売課に相談願います。

共計でん粉



平成三年産共計でん粉の販売状況は、十二月末仮配分累計一袋当り、八三九円（前年同期七八一円）単価による進捗率は、一〇六・一％と順調に販売されています。

また、価格は、産地倉渡し
三、〇二五円～三、二七五円
（前年同期三、一七五円～三、二七五円）東京倉渡し三、二二五円～三、四五〇円（三、四〇〇円～三、四七五円）と若干安値となっています。

なお、馬鈴しよでん粉と競合するコーンスターチは一、九五〇円（前年同期一、九五〇円）となっております。

暮らしの

知恵袋

北根室地区
農業改良普及所

都市にお

いては、一世帯当

たりの家族数の減

少がみられ、核家族へ

と移行してはいますが、

農村では複数世帯同居

家族が、まだ一般的な家

族形態です。

また、近年は非農家出身の女性が農業後継者と結婚して、新たに農業者になる数も多くなってきています。

このように、今の農村社会は、育った年代、教育、文化が異なり多様な道徳観、経済観念、趣味、嗜好、生きがいを持った人々により構成されています。

さらに、人生八十年時代を迎えた今、家族のライフスタイルも大きく変化してきています。

親夫婦、子夫婦、子供達と多世



代の人が一緒に生活して行くには、お互いの考えや行動を理解し、協調し合うことが大切です。農業者

家族ルール づくりとは

自身、複数世帯同居家族についてののよう感じているか、意向調査によると、

〈良い点〉

- よく話し合うことができる。
- 家事、農作業の役割、分担ができる。
- 旅行や趣味など、家族間で調整し休むことができる。
- 自分の持っている技術を教え合える。
- 〈嫌な点〉
- 口うるさくいわれる。

- 考えや好みを押し付けられる。
- 家族が話しをしてくれない、聞いてくれない。
- 特定の人のみが出て歩きすぎると、ありました。

これらに基づき、複合世帯同居家族が上手に生活するため、守らなければならない主なことを整理してみると

- 農作業、家事作業の役割分担を明確にし、一人にのみ負担が集中しないようにする。
- 家族の年齢や好みに合った食事づくりに配慮する。
- 物ごとを悪く受けとめたり、過度にこだわらない。
- 一日の生活の中で、家族全体での団らんと、夫婦単位で過ごす時間をも大切にす。
- お互いの趣味、生きがいを尊重し合う。
- 家族の誕生日や、季節の祝い事などの家庭行事を積極的に行なう。
- お年寄りや子供には、毎日必ず声を掛ける。
- 外出の際は、行く先、用件、帰宅の時間を、できるだけ明らかに告げて出かける。
- 男性も積極的に家事、育児に参加する。

以上のように同居のメリットを生かしながら、どの世代もお互いに尊重し合い気がねなく、のびのび暮らせることが、明日の農業、生活の活力となります。

また、生活管理上での新しい課題として、家族ルール(協定)づくりが、クローズアップされてきています。

これは、多世代家族の中の約束ごとを、家族ぐるみの話し合いの中で決め、実行することです。

「話し合わないで、暗黙の了解や曖昧」で済ませているのは、良い状況ではありません。

ドイツの農村では、「対話力を高める」ということが課題になっているそうです。

家計や経営内容、役割分担、労働報酬、経営や生活の移譲などふんだんから、ざつくばらんを話し合いができるよう工夫しなければなりません。

スノーモビルで雪山目指し!!



吹雪の由もなんのその、今日は迫力満点

雪をけちらし、林道沿いに登って行った。

中標津スノーモビルの会
中標津スノーモビルの会（佐藤範憲会長）のメンバーが、一月二十四日北進台に集合、スノーモビルで斜里岳に挑戦した。

この日、町の中はおだやかな天候でしたが、北進台近くは吹雪模様。それでも怖いもの知らずのメンバー九人は、愛車のモビルに乗り出発、二十センチ以上もある新

雪がひどくなった為、やむなくコースを変更し、養老牛温泉へ向かうことになったのです。温泉では昼食タイム。持参したおにぎりを頬張り、タバコを二服。ここで温泉でも入ってのんびりとしたかったのですが、晩の搾乳時間も迫って来たので帰り道となりました。斜里岳には行けなかったもののこの日走った距離は約五十キロ。



ここでちょっと一服タイム

今後、自分たちはどうあるべきか。

農協青年部、理事者との懇談会が一月二十八日、依橋、当幌支部を皮切りに開催されました。

この懇談会は、青年部各支部に農協理事者を各二人ずつ招き、これからの農業情勢や、農協運営のあり方について、お互いの意見交

青年部、理事者との懇談会

換の場として毎年開催しているもの。今年の開催テーマは、(一)これからの農協運営について、(二)自由化に対して農家に対する影響を農協はどう考えるか、(三)農協広域合併について、(四)農村アメニティーについてなどを柱に話し合われました。青年部では、全支部が終わり次第、各支部の意見を集約し、今後の営農のあり方、農協運営に活用して行く予定です。



長橋支部で行われた懇談会、ちょっと緊張!

雪道のギャツで多少疲れたものの、メンバー一同満足の日でした。

今月の
フォト

アレルゴム

エツ、みそ汁の中にあん餅が!?



全国各地のお雑煮が出来上がり、皆さんでいただきます

全国各地のお雑煮味くらべ

〈農協婦人部〉

お雑煮といえども各家庭それぞれ受け継がれた味、作り方があります。そこで農協婦人部では一月二十九日、雪印乳業調理室において「全国各地のお雑煮味くらべ」を実施しました。雑煮は、「ミソ仕立の汁にあん餅の甘さがマッチした四国編、正油仕立のユズの香りがよい関東編、生のりと花かつおだけのシンプルな島根編、そして大根おろしがたっぷり入った番外編の四品。また、お餅のおやつとして三品の調理実習を行いました。お味の方は、言うまでもなく、「おいしい」の一言。午後からは、町事業で昨年ヨーロッパ研修へ参加されました岩井誠子さん、白田寿美江さんからスライドを使った海外研修報告が行なわれ、参加者を魅了させていました。

誘われて二人旅、中標津をPR。

ヤッホー中標津って本当に良い所ですわ



テレビ朝日で放送されている「誘われて二人旅」のTVロケが、一月八日〜十日中標津町で行なわれました。このロケは、町振興課が企画した、冬の中標津PRという事でTV局に呼びかけていたのが実現したものです。

主演は、テレビでおなじみの俳優・原田大二郎さん。東京からの直行便で中標津入り、着いたその場からビデオ撮りが始まった。

最初は大喰い大会。地元の伯爵いも、牧舎牛乳が登場し、誰がいも塩煮を沢山食べられるかという競技。参加選手は、N高野球部代表、女腕相撲チャンピオン、そして中標津町農協を代表して福岡剛さ

んが挑戦。結果は、やはり若者、N高野球部代表が優勝。十八Kの豪華ネットワークを手に入れました。その他のスケジュールとしては、澱粉で作るジャガイモフラワー、開陽台での光のメッセー交流会、チーズフォンデュパーティーと搾乳体験（武佐・白田牧場）、乗馬体験（俵橋・中川牧場）など、多数の収録が行なわれました。

テレビ放映は三月二日という事ですが、北海道では放映されないのが残念です。



さて誰が一番食べたかな

1月の 組合日誌

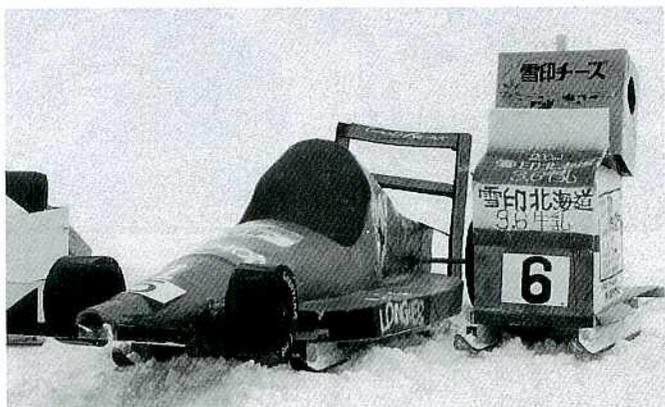
- 4日 関係部門業務開始
- 7日 一般業務開始
- 17日 海外研修運営委員会
- 17日 酪農実習生受入協議会定期総会
- 21日 てん菜振興会定期総会
- 23日 第2回管理購買委員会
- 27日～31日 定例自治監査
- 30日 馬鈴しょ振興会定期総会
- 31日 乳牛改良同志会定期総会

●敬老給付金 給付申請のお知らせ

農協では毎年満75歳以上の組合員と同居老人へ敬老給付金を給付しておりますが、新たに（大正6年3月31日迄に生まれた方）75歳になられました方は3月20日迄農協管理電算課へ健康保険証と印鑑を持参（代理人でも良い）して、給付申請をして下さいます様お知らせ致します。

自作ソリ大会募集

●開陽台自作ソリ大会●



第4回開陽台自作ソリ大会が、2月16日に開陽台育成牧場にて行なわれます。そこで実行委員会では、大会に出場される自作ソリを募集しております。スピード部門とパフォーマンス部門がありますので、個々で創意工夫したおもしろいソリを大歓迎します。

今年は昨年までの反省を踏まえ、駐車場を会場近くに広く設け、また暖房につきましても、炭火を用意、屋台も増やし会場に来て下さいました皆さまに、楽しんでソリ大会を見学できるようにと改善いたしました。また、賞品、賞金もより一層、豪華(?)になり、チューブすべり、宝さがしなどの楽しいアトラクションもありますので、多数の方々のご参加、ご来場をお待ちいたしております。

申し込み、詳細については、開陽館（おぎのりみつ 小木規充）
☎4-2360番までご連絡下さい。

編集後記

年が明けて正月が来たなと思つていたらもう二月、月日が経つのは早いもの。良く聞く言葉に、一月行っちゃう、二月逃げる、三月去る、というのがありますが、くれぐれも月日に置いていかれないようにしたいものです。

さて、二月は、営農計画書、所得税の申告準備と組合員さんにとっては何かと忙しい月になります。また、寒さも一番厳しい月、くれぐれも風邪などがぬよう頑張ってください。

今年は各地区で冬を利用したイベントが沢山企画されている様です。イベントのトップを切つて、今月号に掲載しました当幌冬のフェスティバル、二月十日は、俵橋ふるりの会、二月十六日は、開陽台自作ソリ大会、第一俣落、西竹冬まつり、二月二十三日は、中標津冬のフェスティバルなど各地区楽しい催しで一杯のようです。この楽しい催しも北海道の厳しい冬を逆手に利用し、地域の輪と活性化を広げるもの。今、酪農情勢も一番厳しい状況にありますがこの厳しさを逆手に何かを考え頑張つて行きたいものです。